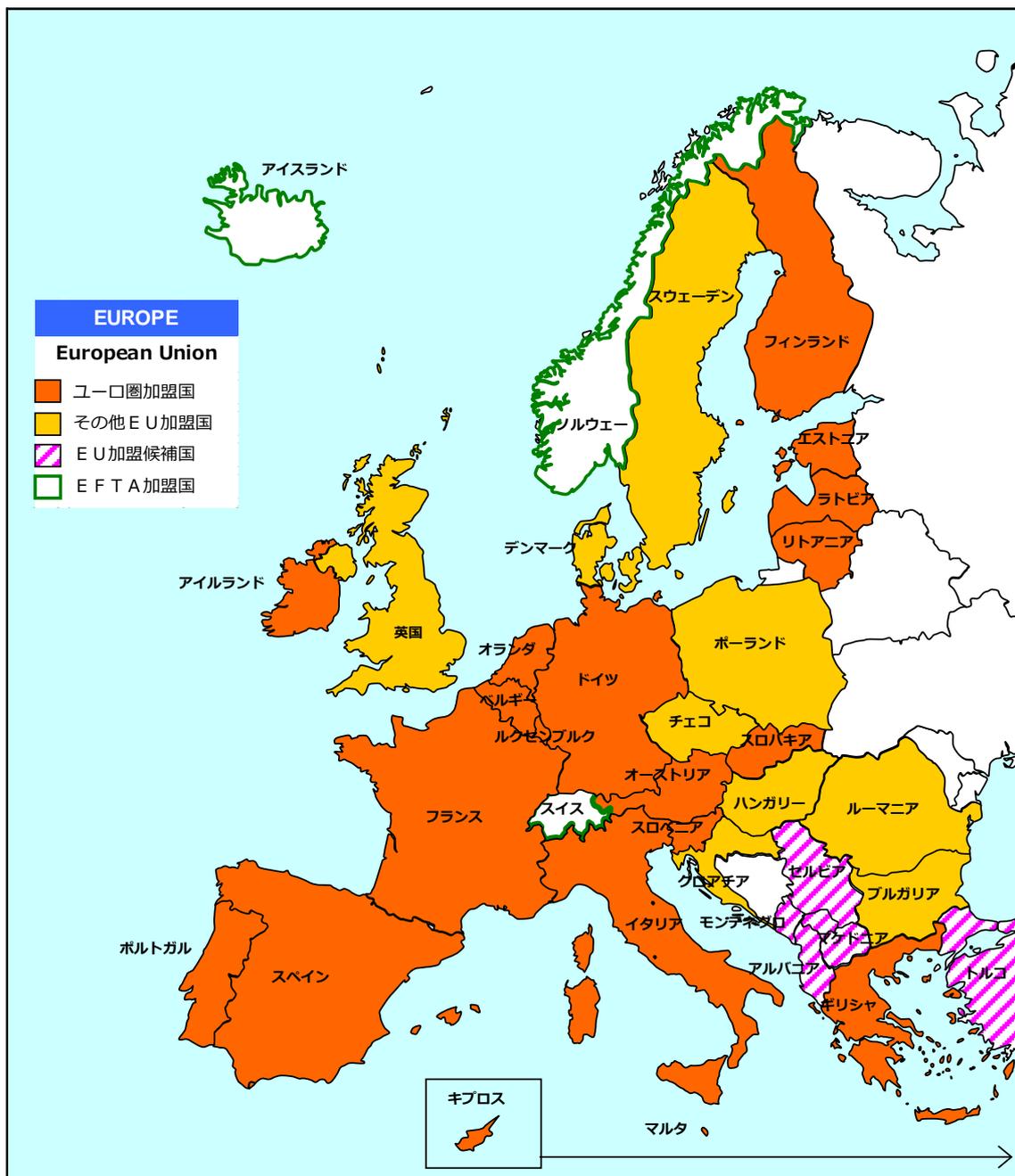


2018年11月27日 全13頁

欧州経済アップデート (2018.11)

経済調査部
研究員 矢澤 朋子

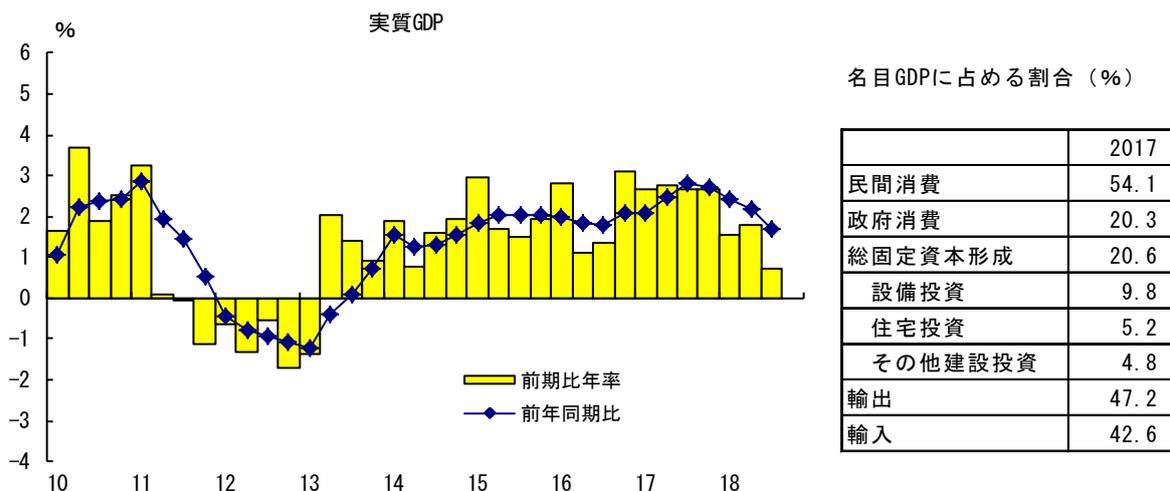


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 18年Q3の実質GDP成長率（改定値）は、前期比+0.2%（前期比年率+0.7%）に減速。13年Q2から続く景気拡大局面で最低の成長率となった
- 詳細は未発表だが、Q3の小売売上高は前期比マイナス、貿易収支黒字は同縮小しており、個人消費と純輸出が振るわなかったと推測される
- 需要項目別の詳細は、12月7日に発表される予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2
個人消費	0.5	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.2	0.5	0.2	-
政府消費	0.5	0.8	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5	0.2	0.1	0.4	-
総固定資本形成	2.7	0.6	1.3	0.8	1.4	-0.7	2.1	-0.3	1.5	0.1	1.4	-
設備投資	4.3	0.5	2.1	0.3	1.9	-2.4	3.2	-1.6	2.2	-0.4	1.7	-
住宅投資	0.9	1.6	1.3	1.6	1.2	0.9	1.4	1.1	1.1	0.9	0.8	-
その他建設投資	1.2	-0.2	-0.7	1.2	0.7	1.5	0.2	1.3	0.6	0.3	1.5	-
輸出	0.9	0.6	1.2	0.3	1.5	1.8	1.0	1.3	2.1	-0.7	1.0	-
輸入	2.3	0.6	1.1	0.7	1.9	0.5	1.1	0.6	1.5	-0.5	1.2	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

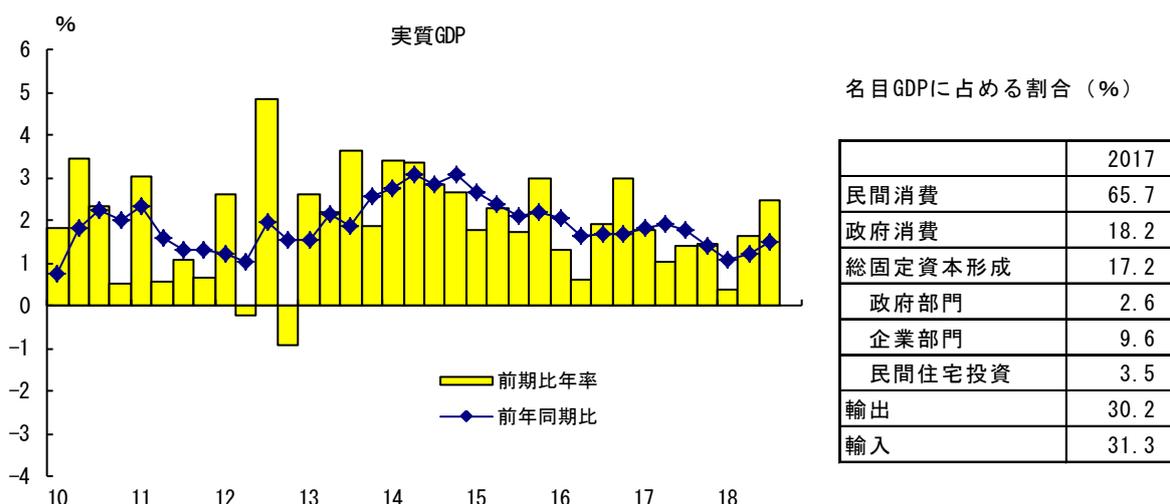
	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2
個人消費	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	-
政府消費	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	-
総固定資本形成	0.5	0.1	0.3	0.2	0.3	-0.2	0.4	-0.1	0.3	0.0	0.3	-
設備投資	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.3	0.3	-0.2	0.2	-0.0	0.2	-
住宅投資	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	-
その他建設投資	0.1	-0.0	-0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	-
在庫変動	0.2	0.0	-0.3	0.1	0.2	-0.1	-0.1	0.0	-0.2	0.2	-0.0	-
輸出	0.4	0.3	0.5	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.0	-0.4	0.5	-
輸入	-1.0	-0.3	-0.5	-0.3	-0.8	-0.2	-0.5	-0.2	-0.7	0.2	-0.5	-
純輸出	-0.6	-0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.6	-0.0	0.4	0.4	-0.2	-0.0	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 18年Q3の実質GDP成長率（1次発表）は前期比+0.6%となり、16年Q4以来の高成長となった
- Q3の成長率に最も寄与したのは純輸出で、輸出が前期比+2.7%と大きくプラスに転換した
- 個人消費は前期比+0.5%と盛り返した。総固定資本形成は同+0.8%と3四半期ぶりのプラス成長。ただし、その内訳に注目すると、企業部門は3四半期連続でマイナス成長



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.4	0.6
個人消費	0.1	1.1	0.8	1.1	0.0	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.5
政府消費	-0.2	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.4	0.4	-0.2	0.3	0.2	-0.4	0.6
総固定資本形成	1.8	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.8	0.2	0.7	-1.0	-0.5	0.8
政府部門	-1.4	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.5	4.9	-1.8	-0.5	-3.9	1.3	8.6
企業部門	2.3	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.8	0.6	0.5	-0.5	-0.7	-1.2
民間住宅投資	3.0	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.4	1.2	4.8	1.5	2.4	0.1
輸出	2.0	-0.9	0.9	-3.2	6.6	-0.4	1.1	2.8	1.0	-0.8	-2.2	2.7
輸入	2.7	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.3	0.7	1.1	-0.1	-0.3	-0.2	0.0

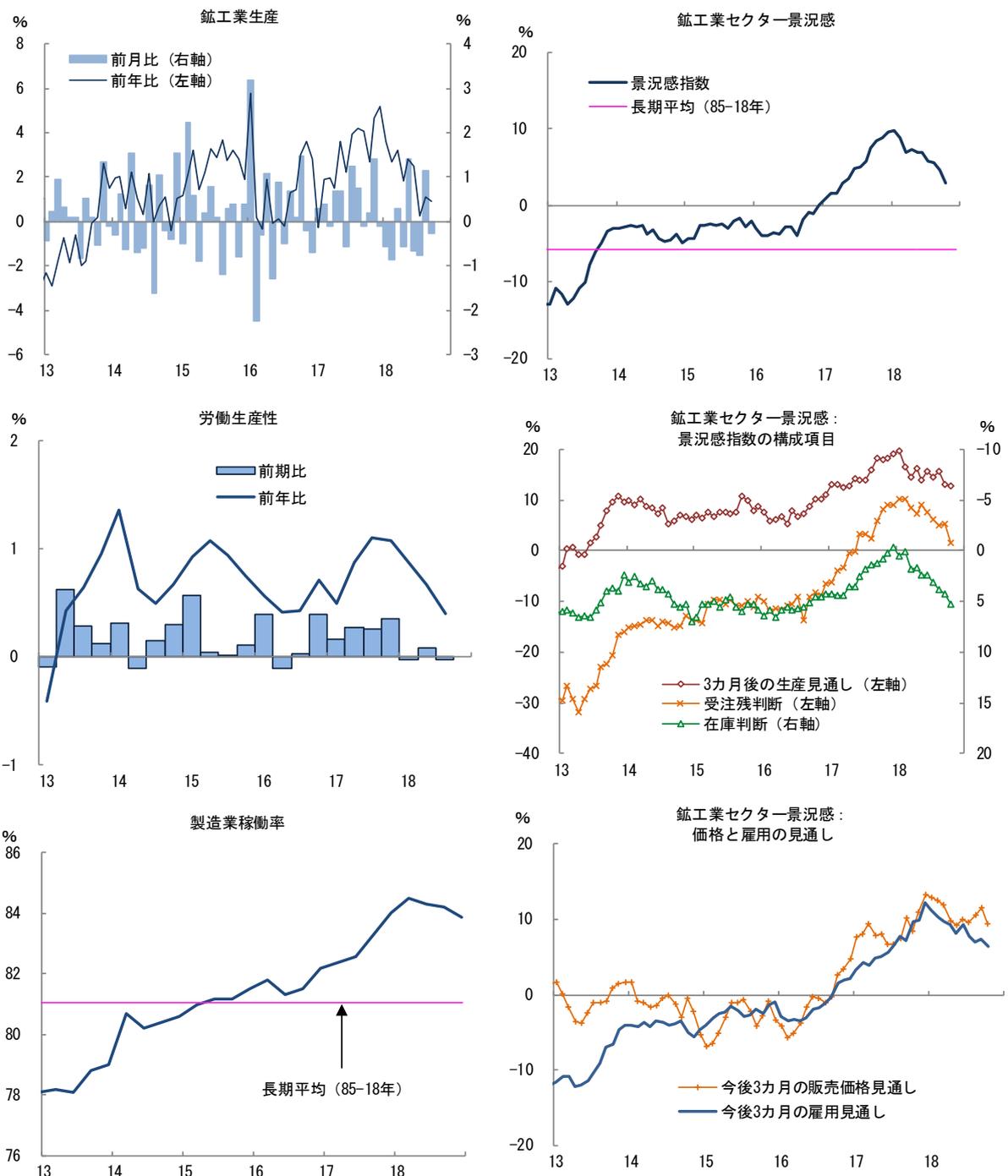
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
実質GDP	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.4	0.6
個人消費	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3
政府消費	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	-0.0	0.1	0.0	-0.1	0.1
総固定資本形成	0.3	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.2	-0.1	0.1
政府部門	-0.0	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.1	0.0	0.2
企業部門	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.2	0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.1
民間住宅投資	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
在庫変動	-0.5	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.2	-0.3	-0.2	-0.3	0.0	0.9	-0.7
輸出	0.6	-0.3	0.3	-0.9	1.8	-0.1	0.3	0.8	0.3	-0.2	-0.7	0.8
輸入	-0.8	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.1	-0.2	-0.3	0.0	0.1	0.0	-0.0
純輸出	-0.2	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.5	0.3	-0.1	-0.6	0.8

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 9月の鉱工業生産は前月比 -0.3% と再び減少に転じた。製造業が同マイナスに転じたのが主要因。Q3では前年比 $+0.8\%$ と大幅に減速し、16年Q3以来の低水準となった
- Q3の労働生産性は前期比 -0.02% と再びマイナスに転落。前年比でも $+0.4\%$ と4四半期連続の減速となった。製造業稼働率を見ると、10月は 83.9% （前回7月 84.2% ）に低下した
- 鉱工業セクター景況感指数は悪化が続く。10月はすべての構成項目が前月比で悪化したが、中でも受注残判断の悪化が目立つ

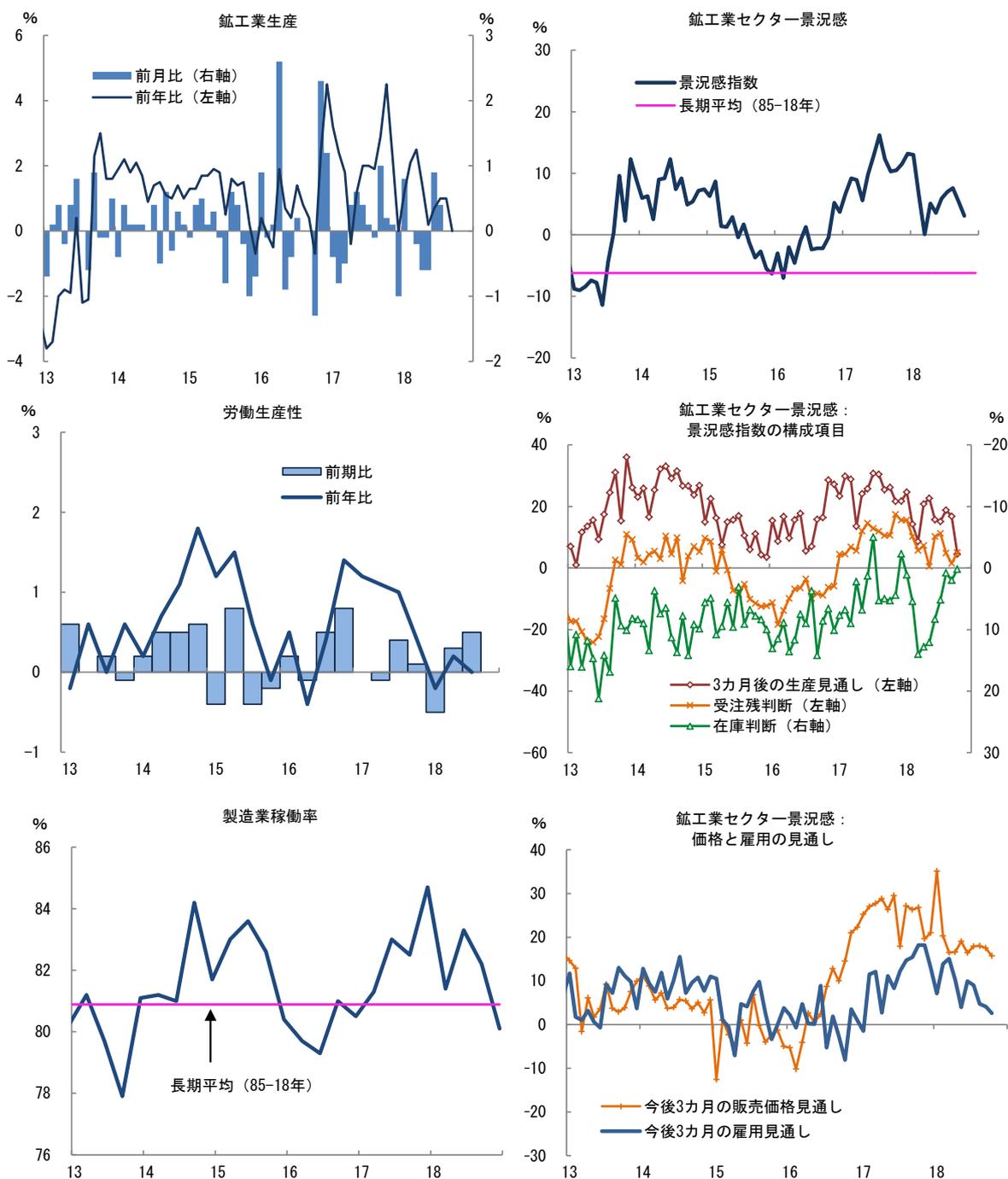


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 9月の鉱工業生産は前年比、前月比共に+0.0%に減速。単月ではブレが大きいですが、前年比伸び率を3カ月移動平均で見ると、春ごろから減速傾向が続いている
- 製造業稼働率は10月に80.1%と長期平均（80.9%）を下回り、16年4月以来の低水準となった
- 10月の鉱工業セクター景況感は前月比で悪化。構成項目のうち、生産見通しが15年12月以来の水準まで大幅に悪化した

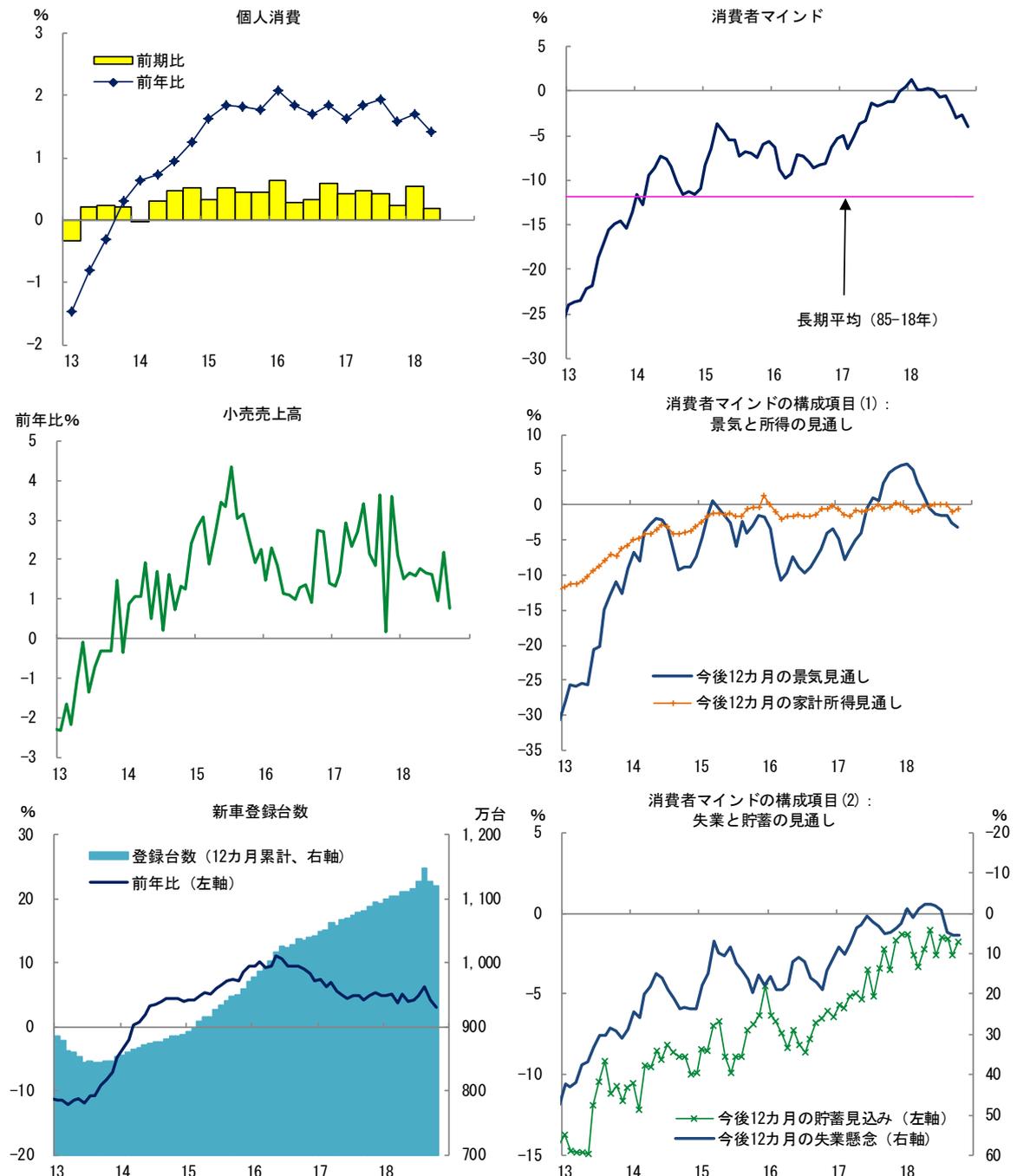


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 9月の小売売上高は前年比+0.8%と再び減速に転じた。Q3の前期比伸び率は-0.03%と15年Q4以来のマイナスを記録。服飾関連、PC関連機器、自動車燃料の売上が振るわなかった
- 10月の新車登録台数は単月では前年比-7.2%と2カ月連続の前年割れ。新たな新車登録方式導入前の8月に記録した大幅増の反動が残る。12カ月累計では同+3.0%に減速
- 11月の消費者マインド（速報）は、10月にやや持ち直した後、再び悪化した

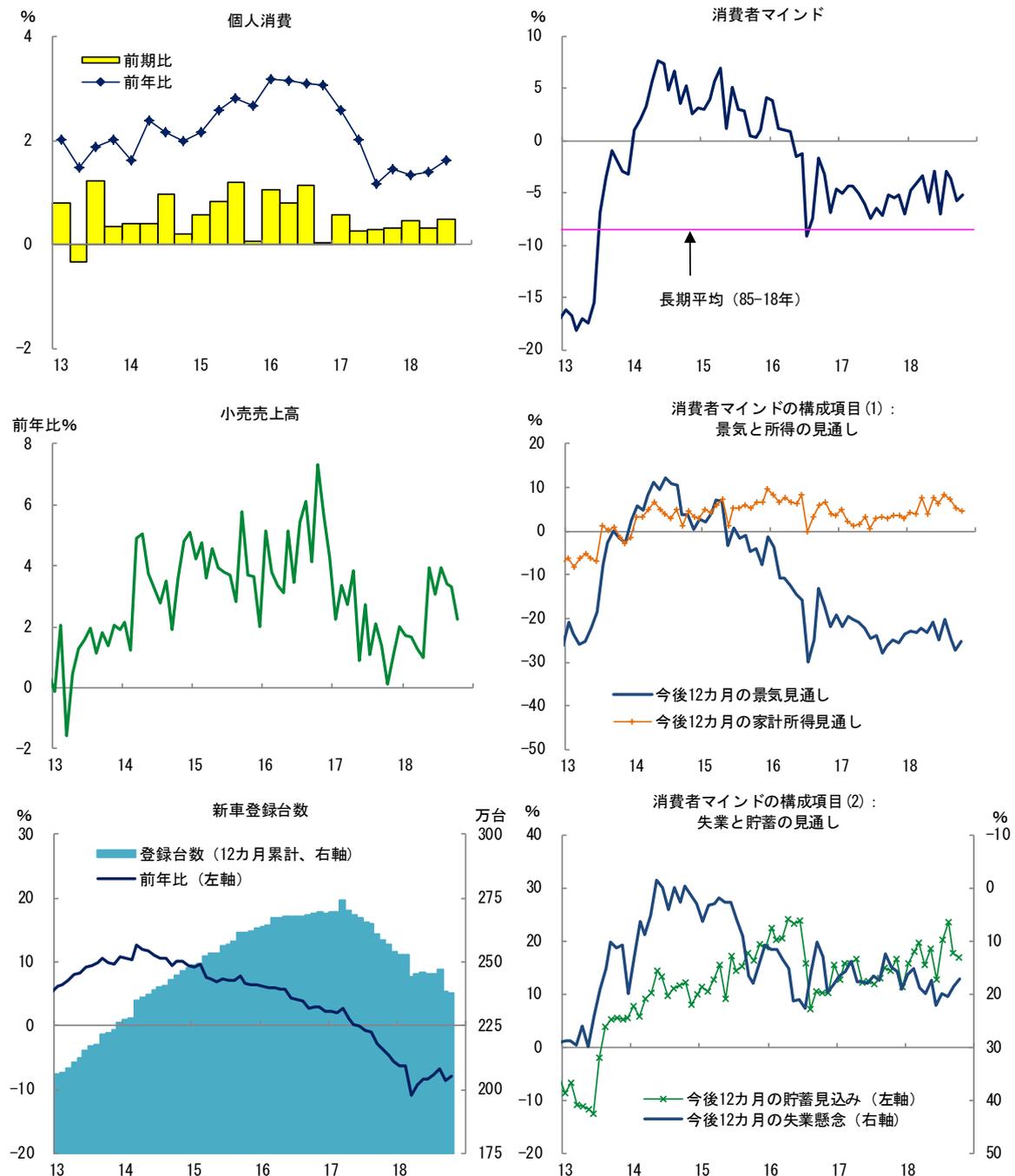


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- Q3の個人消費は前期比+0.5%と加速した。前年比では+1.6%と17年Q2以来の高水準。夏の温暖な気候やFIFAワールドカップによる消費喚起、8月の好調な自動車売上が貢献
- 10月の小売売上高は、自動車燃料売上が5カ月ぶりに前年割れとなり、前年比+2.2%に減速。新車登録台数は、10月単月は同-2.9%、12カ月累計は同-8.0%と共に減少幅が縮小
- 10月の消費者マインドは前月比で小幅に改善。構成項目のうち、景気見通し及び失業懸念が改善した

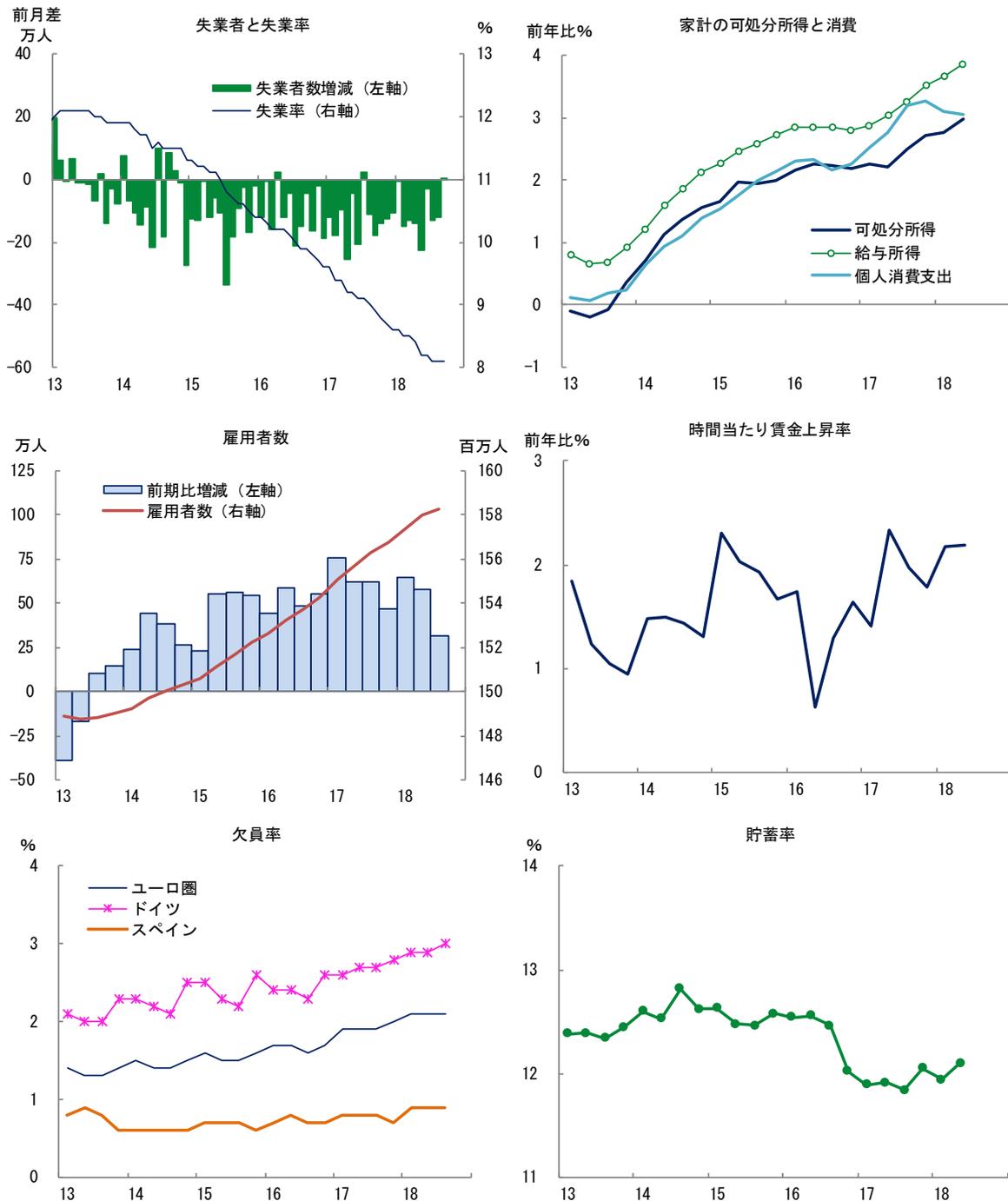


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 9月の失業率は8.1%と8月から変わらず、08年11月に並ぶ低水準を維持。ただし、失業者数はわずかながら前月比増加に転じた。25歳未満の失業者が増加している
- Q3の雇用者数は前期比+31.1万人の1.58億人。95年Q1の統計開始以来の最高を更新
- Q3の欠員率は、ユーロ圏2.1%、スペイン0.9%とQ1以降変わらず。一方、ドイツは3.0%に上昇し、05年Q4の統計開始以来の最高水準を記録

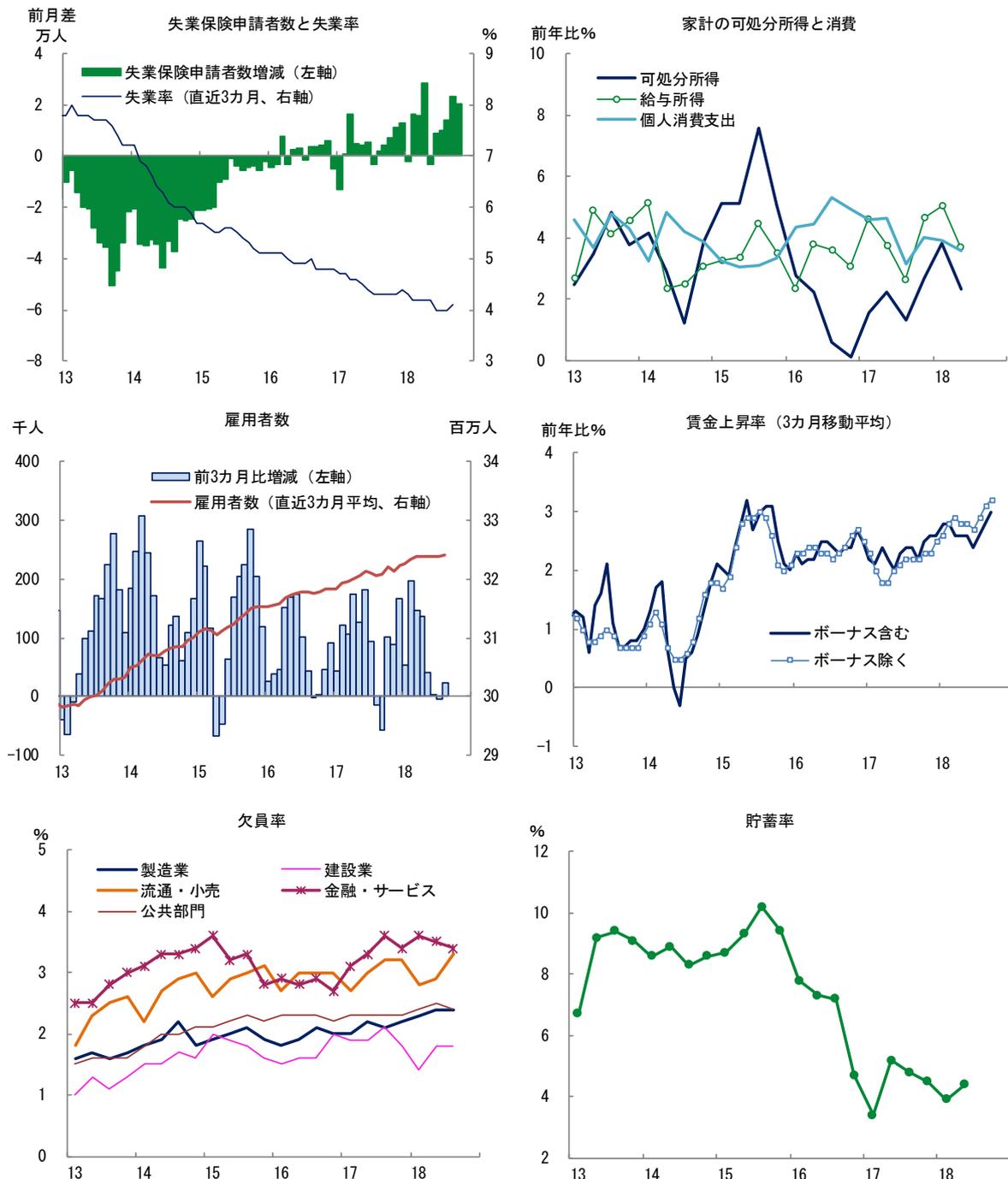


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 7-9月平均の失業率は4.1%と6-8月平均からわずかに上昇するも、依然低水準。失業者数は8カ月ぶりに前3カ月比で増加に転じたが、雇用者数も同プラスとなった
- 7-9月の賃金上昇率（3カ月移動平均）は、サービス業での賃金加速により、前年比+3.0%に加速した。ボーナスを除いたベースでは同+3.2%と08年12月以来の高水準を記録
- Q3の欠員率は、流通・小売業が3.3%と01年Q1の統計開始以来の最高水準を記録し、サービス業全体を押し上げた。一方、金融・サービス及び公共部門はQ2から低下している

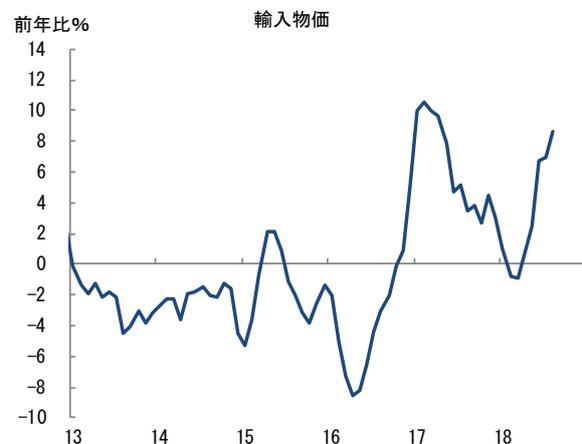
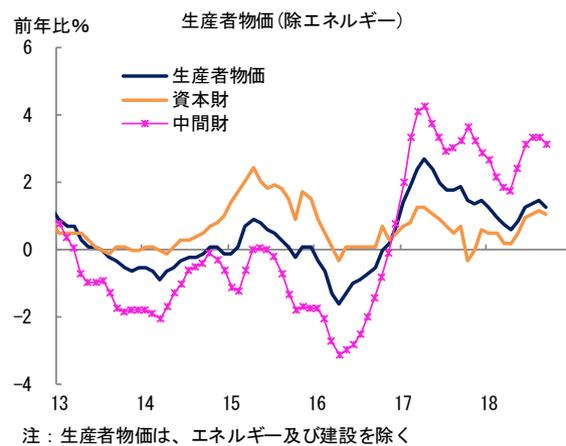


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

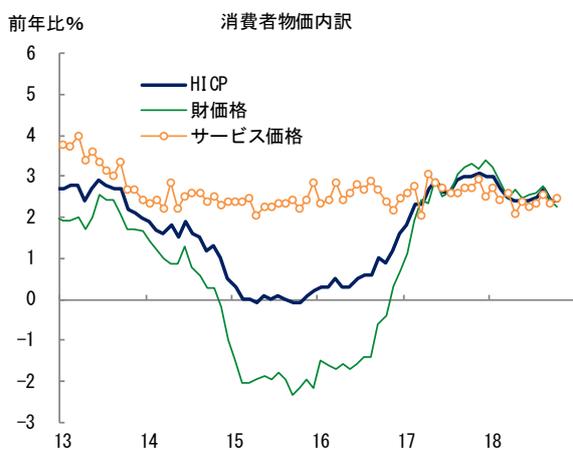
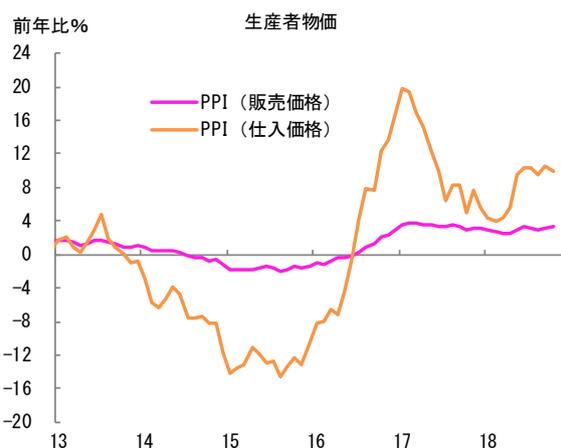
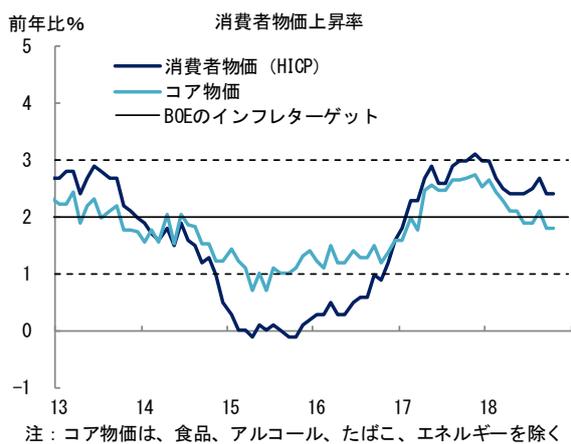
- 10月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.2%と加速した。エネルギー価格の上昇が最大寄与。サービス価格も3カ月ぶりに加速に転じ、コア物価上昇率は同+1.1%に加速
- 9月の生産者物価上昇率は前年比+1.3%に減速した。主要因は、石油・石油精製品価格の伸び率が縮小したため
- 8月の輸入物価は前年比+8.6%に加速。工業製品価格の加速が主要因。食品価格も13カ月ぶりに同プラスに転換した。一方、鉱物燃料等の価格は原油価格上昇が一服し、減速



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

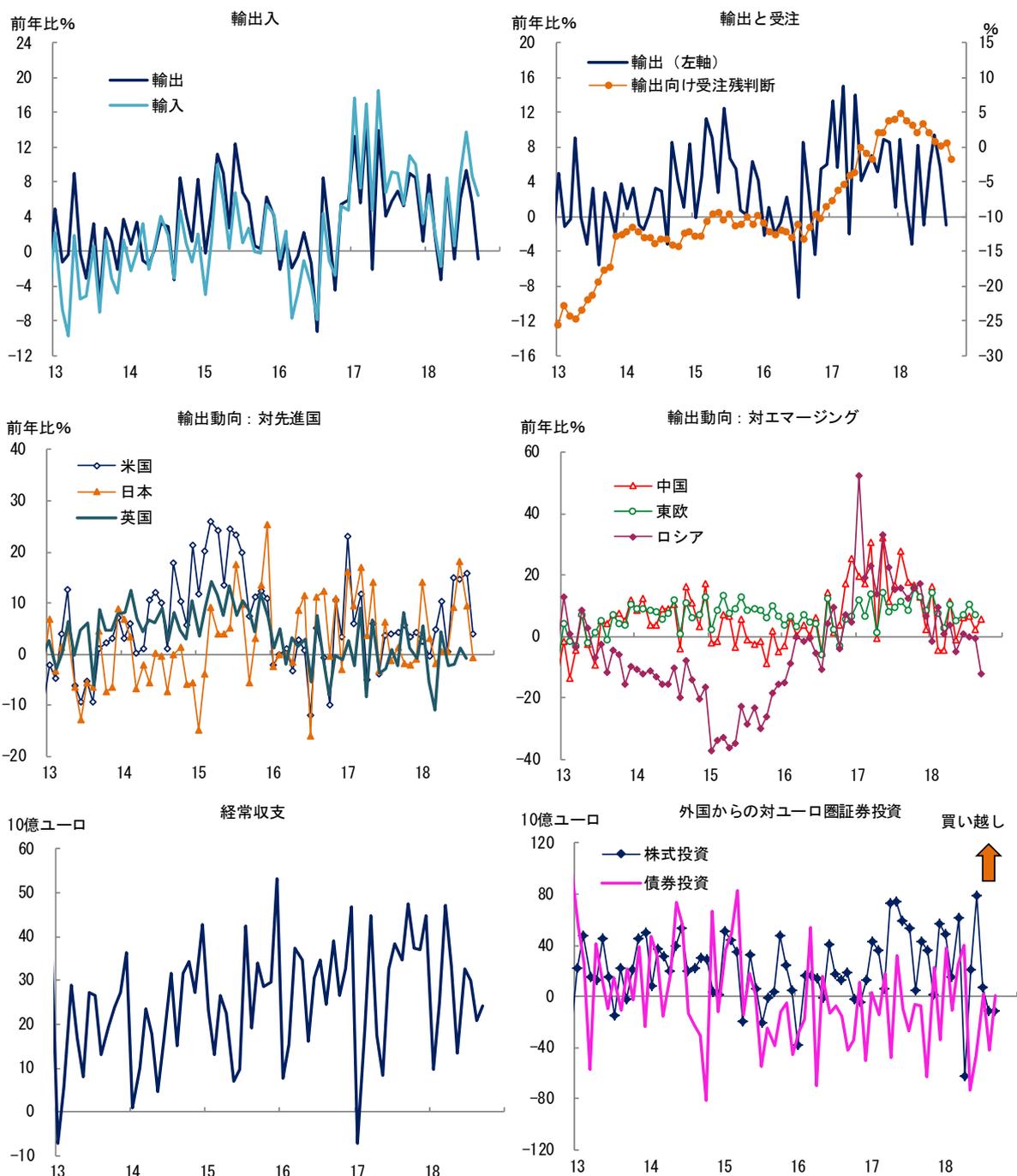
- 10月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.4%、コア物価上昇率は同+1.9%と共に9月から変わらず。ただし、財価格は減速、サービス価格は加速に転じた
- 10月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+10.0%にやや減速。輸入品全般の価格が減速した。販売価格は同+3.3%と加速した
- 9月の輸入財デフレーターは前年比+5.4%と再び加速。石油製品価格の加速に加え、石油以外の燃料価格が大幅に加速し、燃料価格を押し上げた



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

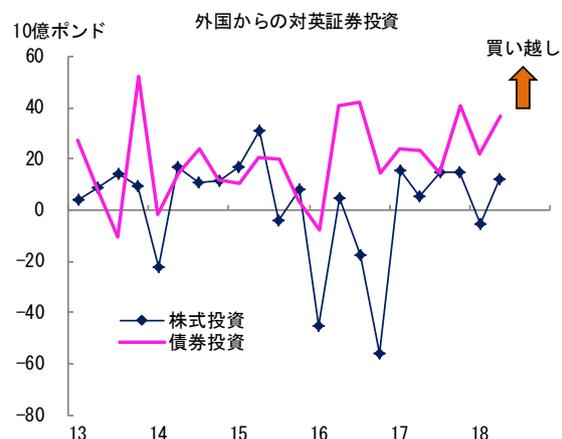
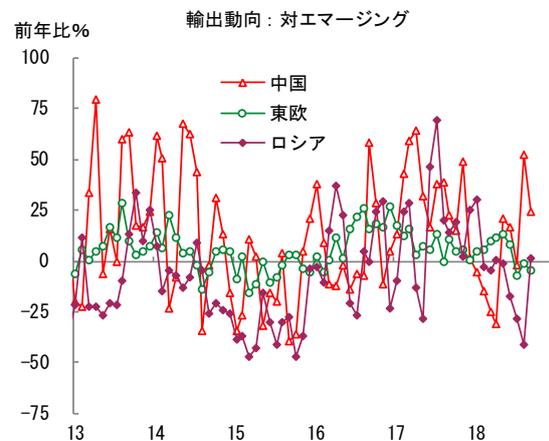
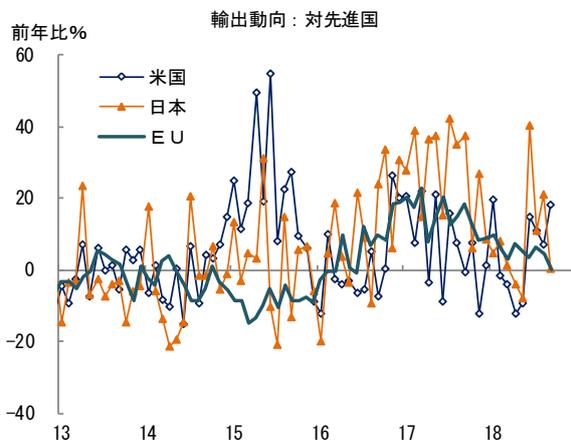
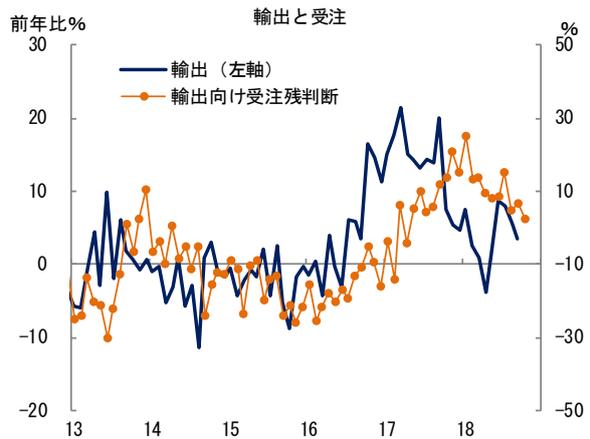
- Q3 の輸出は前期比+1.2%、輸入は同+2.9%とそろって加速した。輸出入共に鉱物性燃料等が伸び率の加速に大きく貢献
- 9月単月の輸出を見ると、前年比-0.9%と4カ月ぶりの前年割れ。米国向けが大幅減速したのに加え、ロシア及びトルコ向けは減少幅が拡大した
- 9月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は2カ月連続で売り越しとなった。内訳を見ると、債券はわずかながら買い越しに転じるも、株式は売り越しが続いた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- Q3の輸出は前年比+5.7%と大きく加速。主因は燃料輸出の急増だが、製品輸出も加速。輸入も同+2.4%に加速。燃料に加え、食品・飲料・たばこ、基礎材料の輸入が加速した
- ただし、9月単月の輸出は前年比+3.5%、輸入は同+1.2%と共に減速。燃料の輸出入が大きく減速した
- 輸出相手国別では、堅調な伸びが続いていた日本及びEU向けが共に前年比+0.3%と減速した一方、米国向けは加速。ロシア向けが反発し、5カ月ぶりにプラスに転換した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成